

3.14 国際推進部門

部門長 坂中靖志

【部門概要】

(1) 研究開発環境のグローバル化、国際標準化等を推進し、国際競争力強化に貢献

経済・社会のグローバル化に伴い、情報通信技術の研究開発並びにその成果の展開という観点においてもこれまで以上に国際戦略が重要視されてきている。

国際推進部門では、NICTの研究開発における国際交流や研究成果の国際的な展開を推進するとともに、産業界・大学等における国際共同研究や国際的な人材交流等も支援するなど、我が国の情報通信技術の研究開発環境のグローバル化を目指した取り組みを行っている。また、研究成果の社会還元・国際展開という面で非常に重要な要素となる国際標準化についても産業界等と連携して効果的な取り組みを推進している。このような研究開発環境のグローバル化並びに国際標準化の推進を通じて、我が国の情報通信技術分野における国際競争力の強化に貢献している。

(2) 国際推進部門の構成

当部門の業務は、次の3室及び3カ所の海外連携センターにより実施しており、その業務概要は以下のとおり。

① 国際研究推進室

国内の研究機関を受入れ機関とする海外研究者の招へい、国際研究集会開催の支援、外国為替及び外国貿易法（外為法）に基づく安全保障輸出管理業務

② 国際連携推進室

NICTと諸外国の関連研究機関との国際共同研究・研究協力の推進、研究協力覚書（MOU）の締結、複数の研究所等が関わるワークショップ及び国際会議の主催あるいは共催、MOUに基づくインターンシップ研修員のNICTへの受入れの募集、選定、海外のICT分野の研究開発動向や世界的な技術トレンド、ICT政策等についての調査

③ 標準化推進室

国内外の標準化関連機関との連携及びそれらの活動状況を収集し研究現場に提供、標準化会議で活躍できる人材の育成、国内の関係機関との連携による国際標準化会合の日本での開催招致、研究現場のフォーラム活動等の標準化活動支援

④ 海外連携センター（アジア連携センター、北米連携センター、欧州連携センター）

各地域における研究開発等に係る情報の収集、研究連携のための企画、推進、支援及び関係機関との連絡調整、国際標準化のための情報収集、推進及び支援

【主な記事】

(1) 国際的な研究協力の推進

フランス国立宇宙センター（CNES）やマレーシアマイクロ電子システム研究所（MIMOS）等15機関とMOUを新たに締結。

(2) 情報交換の促進

シンガポール国立情報通信研究院（I2R）、米国国立標準技術研究所（NIST）、台湾工業技術院（ITRI）、韓国電子通信研究院（ETRI）等との間でそれぞれ国際ワークショップを開催。

(3) 国際的な人材交流

MOUを締結している10機関から13名のインターンシップ研修員をNICTの各研究所等に受入れ。

(4) 海外研究者招へい

国際交流プログラム海外個別招へいにより12名、国際研究協力ジャパントラスト事業により2名の海外研究者を国内の大学等の研究機関に受入れ。

(5) 国際研究集会

国際交流プログラムの国際研究集会支援として、国内で開催された7件の国際研究集会を支援。

(6) 国際共同研究助成

大学等の行う国際共同研究への助成として、平成23年度からの継続案件6件について助成を実施。なお、平成24年度末をもって本件業務は終了。

(7) 安全保障輸出管理関連業務

外国為替及び外国貿易法（外為法）に定められた「輸出者等遵守基準」に対応するための安全保障輸出管理業務を実施しており、平成24年度は内部監査を実施。

(8) 標準化の推進

ITU、APT、IEEE等の標準化機関の会合に参加し、研究現場に情報を提供、国内標準化機関との協力によるITUの国際標準化会合の国内での開催を支援。